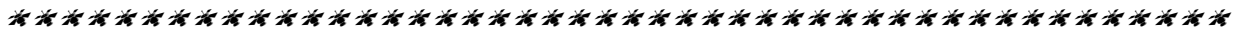




とつか
2016年9月会報 第263号

- 2016 国際会長(IP) Joan Wilson (カナダ)
主 題 “Our Future Begins Today” 「私たちの未来は、今日から始まる」
スローガン 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)
主 題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川 越)
主 題 「明日に向かって、今日動こう」 “For the Future, Act Today!”
2017 スローガン 「手を取り合って、今、行動！」 “Together, Let's Roll Now!”
湘南・沖縄部部長 若木 一美 (横浜とつか)
「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～
クラブ会長 浦出 昭吉 「初心に帰ろう、グッドスタンディング目指して」
副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 小俣 妙子
主 題 ネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



会長ひと言

浦出 昭吉

～名案なんてないけど～

今の天皇陛下の穏やかな存在こそ現憲法という国民統合の象徴にもっともふさわしいと思ひ、もう何十年も前に皇太子だったご一家が葉山で夏休みを過ごしておられるご様子を拝見して、「この幸せな光景がいつまでも続きますように…」という気持ちが自ずと湧き出してきた当時から今更のように思い出します。それにしても8月8日の痛々しいまでの「お言葉」、率直に申して、公務の重さの訴えと「自粛」の混乱を避けたいというご配慮を聞いて、ご退位の希望を尊重すべきと思ひました。気になることは、一般的に申して 国民一人ひとりが陛下を思う気持ちに変わりはないとすれば そのご意向が「生前退位」であることが明らかになった今、時に中には異論をはさむ者を国賊…?と言わんばかりになるのでは…との思いがしないでもありません。それでは名案は、と問われても すぐには頭に浮かびません。ただ、ここで言えることは、こうした問題を主導するであろう政治家や学者の諸氏には冷徹した議論と国民を納得させるだけの「手」を十二分に絞っていただきたいなと思ひます。現に「本来このような形で公にしてはいけないことであった…」と述べている評論家もいると聞く。また、事ここに至るまで…という考えもありそうです。ワイズの皆さんはしかがお考えでしょうか…。

◎今月の聖句◎

だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。

—マタ化による福音書6章34節—

この部分は、有名な「山上の説教」に出てくる言葉ですね。色々な心配事があっても、人は、それらの事を考えるだけで、時には生きる希望をなくすことさえあります。イエスは、「あなたが心配しなくても、ちゃんと神様が心配して下さいますよ。」と、人が勇気と希望をもって生きていけるように道を用意して下さいっております。

強調月間 ユース

今年で29回となるユースボランティアリーダーズフォーラム(略してYVLF)が9月9日(金)から11日(日)にかけて、東京YMCA山中湖センターで開かれます。基調講演は、青山鉄平氏による「今ユースボランティアリーダーに求められること」と題して行われます。思えば(記憶に誤りがなければ)29年前の1987年9月、時の南東部の福島正部長(目黒)らが3部合同で晴海ふ頭に錨泊中の「にっぽん丸」において、第1回となるYVLFが開かれて以来のメイン・イベント、参加のユースを例会に招き 報告を聴くのもまた楽しみの一つか…。

8月在籍者数			8月出席者数			出席率	ファンド		B	F	B	F	CS・TOF・	Y	E	S	ロ	バ
メ	ン	14	メ	ン	9	85%	他	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	A	S	F	(円)	(円)	(円)
メ	ネット	9	メ	ネット	2		前	月	迄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ゲ	スト	ら	35	当	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	23	合	計	46			累	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

☆例会（鎌倉・横浜とつか両クラブ合同納涼例会）報告☆

浦出 昭吉

日時： 2016年8月23日(火) 18:30～21:00

場所： 加藤ワイズ宅

出席者：(ゲスト) 増本敏子さんら 11名

(ビジター) 小原武夫さん(東京世田谷クラブ)ら 24名

(とつかメン) 有田・浦出・長田・加藤・小俣・佐藤・鈴木・土方・吉原

(とつかメネット) 杉本・加藤 計) 46名

今回で19回目となる合同納涼例会、定刻 長田担当主事の司会、いつもの年よりゲストの皆さんがやや多い中、鎌倉クラブの池田会長のご挨拶と開会の点鐘で始まりました。

開会礼拝の後、両クラブ及びYMCAからの連絡事項がそれぞれ手際よく手短になされ、本日のメインイベントの一つ、有田征彦氏の入会式に移りました。

立会は伊藤幾夫ワイズと会長の私、加藤書記が司式を行いました。以前にもこの納涼例会で入会式を行っており、式辞朗読、立会人による歓迎の挨拶、入会者の決意表明とすべて順調に進み、参加者全員による大きな拍手の裡に式を終えることができました。

そして、いよいよお待ちかね、懇親会の始まりです。長田主事の‘食前の祈り’に続いて、伊藤幾夫ワイズによる乾杯の発声で一斉に盃を挙げ、宴に入りました。

いつもながらの次々とお出のお料理に箸を置く暇もなく、適度のアルコールとともに懇談の環がここかしこに広がります。頃合いあって自己紹介・他己紹介…、その都度 拍手と歓声に包まれていました。

定刻をやや過ぎたころ、開会挨拶が私からあって、ここのアルジにもそれぞれが労をねぎらい、握手を交わし、家路へと歩を早めました。



～ゲストの皆さんと～



～さて これからのワイズは～

☆入会に寄せて☆

有田 征彦

皆さん こんにちは。日本 YMCA 同盟の有田征彦（ありたゆきひこ）と申します。この度、長田担当主事の紹介で横浜とつかワイズメンズクラブのお仲間に加えていただくことになりました。

3月までは横浜 YMCA の職員として本部事務局に勤務しておりましたが、2016年4月より日本 YMCA 同盟に席を置くこととなりました。西日本区の連絡主事の担当もさせていただきます。西日本区の各クラブと YMCA のパイプ役という重責もなんとか果たしながら、とつかクラブの皆さんと楽しく活動をさせていただければと思っております。

さて、8月23日の鎌倉クラブとの合同納涼例会の席上、入会式が行われました。当日は美味しいお料理を頂き、大勢の皆さんから入会を祝っていただきました。頂きましたチャーター記念誌等を拝見して、クラブの様々な活動を通して YMCA をお支えいただいていることを改めて感じました。ワイズのバッジを装着し、お仲間に加えていただいた実感が湧いている所です。

今後は、勤務の都合で出張などによる例会欠席もあるかと思いますが、できる限り例会行事には参加するつもりでおります。

皆さん、よろしく
お願いいたします。



～お話も弾んで～



～久しぶりのお顔も～

☆横浜 YMCA 委員研修会から☆ 加藤 利榮

毎年この時期に行われている委員研修会が8月20日(土)の14時から横浜中央YMCA 9階チャペルを会場に開かれました。

YMCA 運動の担い手となる委員相互の交流を深めるとともに、その結果をYMCA 運動及び委員会の運営に活かすことが主目的で、今回は80名ほどの委員や職員が参加しました。

開会礼拝の後、「子どもの貧困問題を考える」～YMCA はどう向き合うか～のテーマで、2人から報告(発題)がなされました。

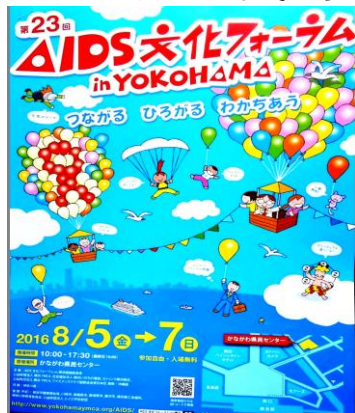
報告①は、横浜市鶴見区福祉保健センター生活支援課の関口洋平係長から「横浜市における生活困窮世帯への支援活動について」で、主として生活困窮者自立支援法に基づく統計資料や地域により市としての対応をより活かすため NPO 法人などへの委託を行っている現状などについて話されました。

報告②は、横浜 YMCA オルタナティブ事業本部長で横浜北 YMCA の山中奈子館長から「横浜 YMCA が取り組む『寄り添い型学習支援』について」、生活保護世帯などの支援を必要とする家庭の小・中学生とその保護者に対する学習や生活への支援の現状と問題点などが報告されました。

6, 7人に分かれてのグループ討議では、孤立化・潜在化する子どもたちへの支援をどうすればより良い方法が採れるか、例えば、横浜 YMCA が行っている BAPY 基金の更なる活用について等々、活発な話し合いがなされました。

懇親会の際にも、私の所属する BAPY 委員会のアピールもなされ、定刻18時、田口総主事のあいさつで閉会しました。

☆AIDS フォーラムに思う☆ 若木 一美



今から30年ほど前の昭和58年(1983年)ころ、県立鎌倉青少年会館で職員と米国で話題になっている原因不明の病気の話をしました。それからしばらくしてエイズが採り上げられるようになりました。

日本で国際会議が開催される際に別団体で一緒にいた元総主事吉村恭二さんから

県民と共に考えるフォーラムの話をお聞きし、第1回に参加させていただきました。それから何回か会場を訪問していましたが、運営側に回るのは今回が初めてです。ベテランのボランティア、参加者、職員は手際よく準備を進めておりました。

3日間のフォーラム、ボランティアも参加者も今年は若干増加したと高村職員から伺いました。これほどの行事でいつも思うことは、本当に聞いてほしい人に届かないことです、関心のある人は多く集まるが…。何か良い知恵はないものでしょうか? 第1回から見ると、その時代々々に沿うプログラムに変化していますが、今後は多様な課題に即した企画が求められるべきと感じました。

展示コーナーで小俣ワイズのお知り合いの女性と話しておりましたら 事務所並びの美容室店長さん、その向こうの写真店の店長さんと小俣ワイズは関西の高校で同級生だったとか、今年のテーマ“つながる ひろがる わかちあう”になりました。

☆今年も山手の墓参に☆ 加藤 利榮

YMCA 史学会皆様の準備で8月13日(土)正午から23名が参加して、J. T. スウィフト主事の墓前礼拝が行われました。

古田和彦さんの司会により、讃美歌412番を全員で唱和し、聖書(ヘブライ人への手紙13章7-8節)が司会者により朗読された後、田中義宣さんの祈祷、引き続き全員で主の祈りを捧げました。記念撮影に収まったのち スティーブン・ミラーさんの墓前にも花を手向け、また この礼拝を始めるきっかけを創られた故大藤啓矩さんが納骨されている本牧めぐみ教会の墓地にも礼拝して、外国人墓地を下りました。

その後は、いつものように稲本誠一さんが用意してくださっている中華料理屋において1年1回の懇親のひと時を持ち、15時過ぎ ご挨拶を交わし散会となりました。



☆再びチャリティーゴルフが☆ 吉原 訓

第2回 横浜 YMCA 子ども支援(BAPY)基金のためのチャリティーゴルフ大会が12月16日(金)、前回と同じ戸塚カントリー倶楽部 東コースにおいて開催されることが決まりました。今回は その大会実行委員長を仰せつかりましたので、あえてアピールをさせていただきます。

第1回は2月15日に同じ場所で開催され、鈴木茂大会委員長から75万円が横浜 YMCA の BAPY 基金のために捧げられております。

この BAPY という単語について少し説明させていただきますと、BAPY とは Be a Partner of the Youth の略で、「子どもたちのパートナーになろう」という意味だそうで、国際・地域協力募金とともに横浜 YMCA が実施している募金活動の一つに当たります。横浜 YMCA が行う子どもを対象としたスポーツやキャンプなどさまざまなプログラム活動に、経済的な理由から参加することができない子どもたちに対して、参加費用の一部または全部をこの基金から援助するのが目的とされております。特に、横浜 YMCA が公益財団法人化されて以来、行政もこの制度を高く評価していると聞いています。また そのための常置委員会も設けられており、加藤ワイズも委員の一人になっています。聞くところによれば、プログラムに参加を希望する子どもたちへの支援の範囲は、基金不足からかなり削られて支援しているのが現状と伺っています。

ご参加できる方は、ワイズに限らずお友達にもお声を掛けていただき、日ごろこうした機会に 名門カントリーを利用できる醍醐味を 共々 味わっていただきたいと思います。

☆YMCA だより☆

担当主事 長田 光玄

～夏休み！朝のラジオ体操～

私の勤務する横浜市踊場地区センターは、横浜市より横浜YMCA が指定管理者として管理委託を受け、管理・運営を行っております。

毎年、夏休みには小学生を対象に地域のスポーツ推進員の方が 5 日間の水泳教室を企画しています（指導はYMCA）。踊場地区センターからも水泳の指導に関わりました。小学生 100 人が参加し 5 日間みっちり練習しました。

また、7 月 25 日～8 月 27 日まで 踊場地区センターの駐車場朝 6:30 よりラジオ体操を実施しました。22 日間で延べ 1,378 人が参加しました。ラジオ体操の歌から始まり、ラジオ体操第 2 まで通して行いました。

気持ちの良い朝を地域の方々を迎え、運動習慣と良い生活習慣を身に付ける又とない機会となりました。

YMCA らしい地区センターです !!



☆今月の歳時記から☆

‘台風 たいふう’ と ‘芭蕉 ばしょう’

‘台風’、熱帯低気圧の一種、南洋や南シナ海などに発生し、夏から秋にかけて多く起るが 近畿・関東を襲うのは 9 月初旬から 10 月初旬が最も多い。台風は大きな一つの渦巻で、中心に無風状態の部分があり、台風眼という。台風が過ぎれば、あとは秋晴れの好天となる。

颱風の闇身の裡に燭ともる 誓 子

颱風の来つつあり大小の紙の鶴 三 鬼

やわらかき陽をまぶたにす颱風過 桂 郎

‘芭蕉’、芭蕉はおよそ 2メートルほどの大きく みずみずしい青葉を広げる。葉擦れの音にも そこはかかない秋の訪れを感じさせてくれる。葉は傷つきやすく、秋風の吹くころともなれば、葉脈に沿って裂け始め 風雨に破れ裂けた芭蕉の葉は痛ましい。松尾芭蕉は、「その性 風雨に痛みやすきを愛す。」と云って この植物を好んだ。バナナの木も芭蕉といい 両者ともバショウ科バショウ属・多年草ではあるものの、バナナは熱帯性、一方の芭蕉は熱帯性でも耐寒性も併せ有している。また 双方とも実を付けるが、芭蕉の実にはバナナほどには実らず、通常は食用に適さない。

芭蕉野分して盥に雨を聞く夜かな 芭 蕉

さらさらと白雲わたる芭蕉かな 子 規

この寺は庭一盃の芭蕉かな 芭 蕉

(伊)



☆ 9・10月の行事予定 ☆

- 9/3(土) 横浜市舞岡地区センター献堂式・15:00～
- 9/3(土) 第1例会：湘南とつかYMCA1階ホール・18:30～
- 9/6(火) DeNA公式ナイター観戦：横浜スタジアム
- 9/9(金)-11(日) 第29回コースボランティアリーダーズフォーラム
- 9/13(火) 第74回Y-Y's協議会：中央YMCA・19時～
- 9/20(火) 第2例会：湘南とつかYMCA205号室・18:30～
- 9/22(木・休) 横浜YMCA会員スポーツ大会・フェリス女子大
- 10/1(土) 部会・三浦ふれあいの村：専用バスで送迎
- 10/8(土) You & I Concert：つづき公会堂・14時～
- 10/8(土)-10(月) 第19回日本YMCA大会：東山荘
- 10/15(土) チャリティーラン：MM21地区
- 10/18(火) 第2例会：湘南とつかYMCA205号室・18:30～

～9月例会のご案内～

9月3日(土) 第1例会・湘南とつかYMCA・18:30～

◇ メイン：丸岡先生のご指導で‘手芸教室’

◇ 実費程度の材料費を徴収させていただきます。

9月20日(火) 第2例会・とつかY 205号室

～Happy Birthday～

南部 直登さん 9月7日

佐藤 康子さん 9月11日

渡辺 英男さん 9月13日

有田 征彦さん 9月20日

浦出 昭吉さん 9月27日

南部美穂子さん 9月30日

【掲示板】

会 長

- ◎ チャリティーゴルフ(前ページ)申込み・問合せ先
長田担当主事： 045・866.0100
- ◎ 舞岡地区センター献堂式(上記行事予定)のご案内
第1例会の日になりますが、加藤・長田両君は参加の予定です。お問い合わせ先：長田担当主事(前記)
- ◎ 横浜YMCA 熊本・東北復興応援ナイター2016について
横浜 DeNA vs ヤクルト(公式戦)が 9月6日 18時から横浜スタジアムで行われます。ナイター募金(一口 3,000円)で 内野指定席チケットとオリジナル応援タオルを進呈。
- ◎ 第74回Y-Y's協議会について
9月13日中央Yで開かれる恒例の協議会です。
今回は「YMCA ブランド・プロジェクト」のテーマで、広報担当の池田直子氏からお話を伺います。
当番クラブはとつかクラブなので、私が進行役です。
3日の例会時に出席を確認させていただきます。
- ◎ 10月の第1例について
第1土曜日が部会になるので、部会をもって例会に振り替えます。なお 15日のチャリティーランには出来るだけご参加願います。とつかはいつものようにコースガードを担当します。

(後記)

久しぶりの入会式でした。有田さん 一緒にやりましょう。(TK)